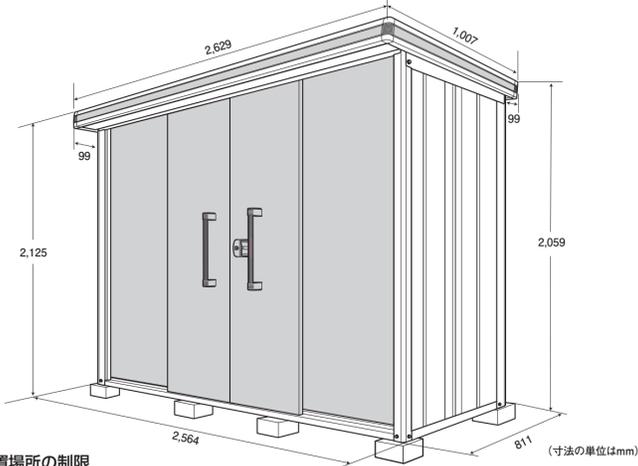


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-2508型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

種別	部品	2508型
枠	上枠前後	LM5-0206
	下枠前後	LM5-0256
	上枠左右(一般型)	LM5-0308
	上枠左右(積雪型)	LM5-0309
	上枠左右(豪雪型)	LM5-0310
	下枠左右	LM5-0351
柱	一般型・積雪型	LM5-0413
	豪雪型	LM5-1403
間柱	一般型	LM5-1403
	積雪型	LM5-1433
屋根	一般型	LM5-1106
	積雪型	LM5-3576
床	一般型	LM5-0704
	積雪型	LM5-0704
壁	一般型	LM5-1001
	積雪型	LM5-1004
扉	一般型	LM5-1021
	積雪型	LM5-1056
扉	一般型	LM5-1706
	積雪型	LM5-1901
合計	一般型	16
	積雪型	17

●梱包内容表

部品名	数量	部品名	数量
ELD 脚柱固定金具	4	ELD 上枠左 A1.0	1
ボルト(スプリングワッシャー付) M6×15	9 (1)	ELD 上枠右 A1.0 DLN	1
ELD 上枠前連結金具	1	〔「一般型」ラベル貼付け〕	
床押え金具③	1	LM 5-0309	
屋根止金具 KN	3(3)	ELD 上枠左 A1.0	1
T型レンチ	1	ELD 上枠右 A1.0 DLS	1
ELD アンカープレート(L)	4	〔「豪雪型」ラベル貼付け〕	
ELD 屋根隙間幅しB	1	LM 5-0310	
組立説明書	1	ELD 上枠左 A1.0	1
取扱説明書	1	ELD 上枠右 A1.0 DLN	1
保証書 5年	1	〔「豪雪型」ラベル貼付け〕	
※数量の()内は一般型及び積雪型の予備数を表しています。			
●上枠前後			
LM 5-0206		部材名	数量
ELD 上枠前 OD-A3.5	1	ELD 下枠前 A1.0 (左)	1
ELD 上枠後 A3.5	1	ELD 下枠前 A1.0 (右)	1
●下枠前後			
LM 5-0256		部材名	数量
ELD 下枠前 OD-A3.5	1	ELD 柱前 OD-右 L	1
ELD 下枠後 A3.5	1	ELD 柱前 OD-左 L	1
ELD 床押え A3.5	2	ELD 柱後 L	2
		ELD 戸当り(M) L	2
●扉			
LM 5-1021		部材名	数量
ELD 扉パネル L-E	2	ELD 扉パネル L-A	1
●脚立			
LM 5-1106		部材名	数量
ELD 脚立前 A3.5	1	ELD 脚立後 A3.5	1
●補強			
LM 5-3576		部材名	数量
ELD 上枠補強 OD-E	1		

○部材名称にはA1.0,A3.5等の長さを示す記号がつけられた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
■は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 8ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合には必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本*コンクリート床の上に設置する場合には必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立

●使用ビス一覧



●アンカー工事について

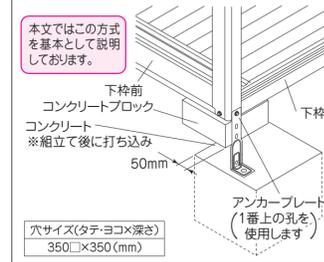
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

△注意

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

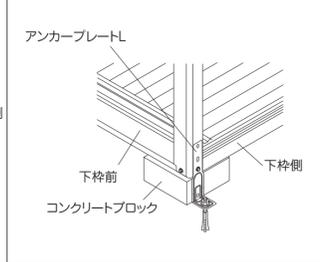
《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



《コンクリート床の上に設置する場合》

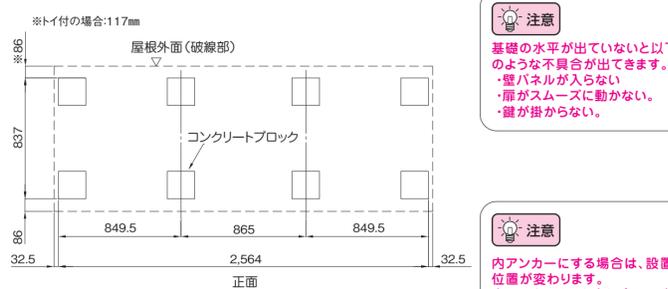
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上)で固定してください。



△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



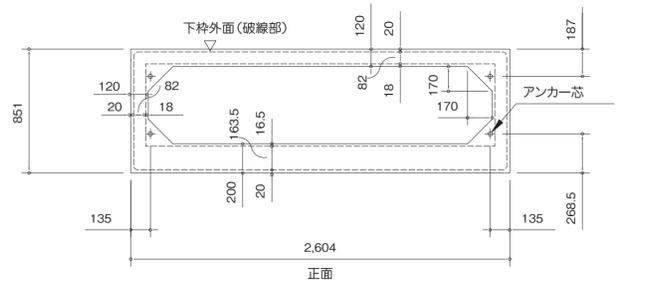
△注意

基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・壁が掛からない。

△注意

内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にお読みください。

《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

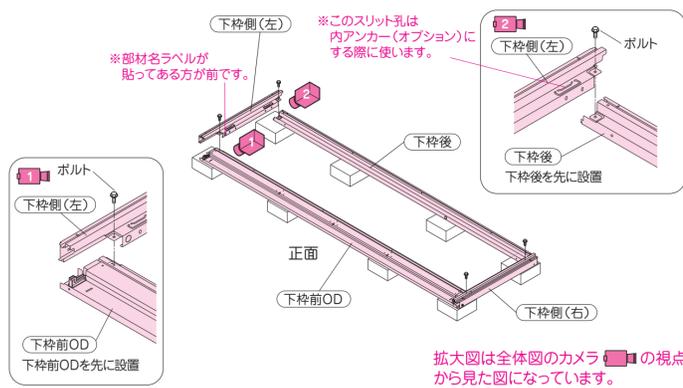


△注意

布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション) 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

2 下枠の組立

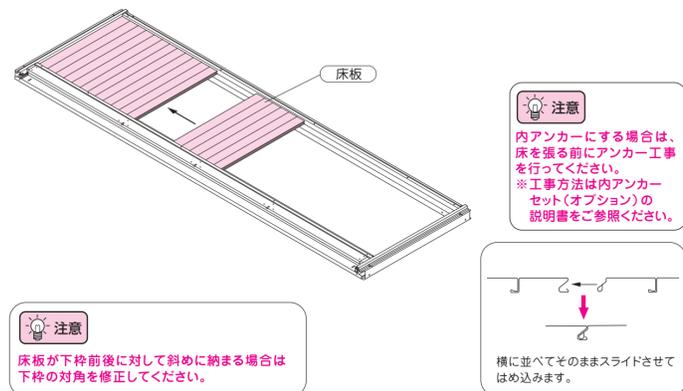
- ①(下枠前OD)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前OD)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。



拡大図は全体図のカメラ(1)の視点から見た図になっています。

3 床の設置

- ①(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。

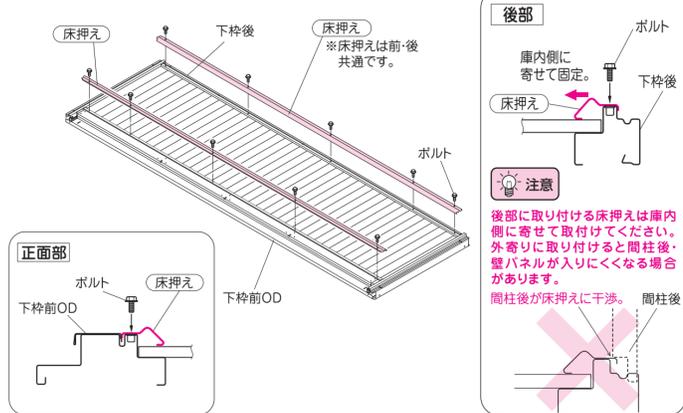


△注意

床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

4 床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前OD・下枠後に取付けます。

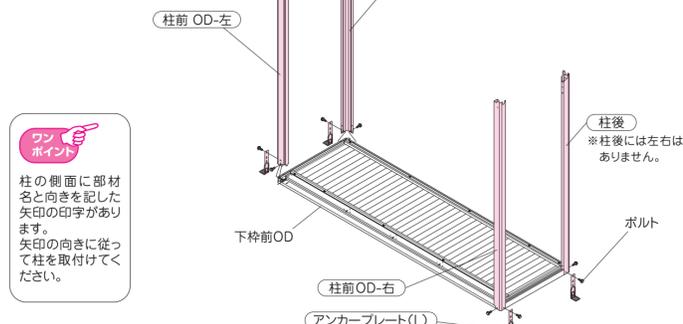


△注意

後部に取付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

5 柱の取付け

- ①(柱前OD)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。

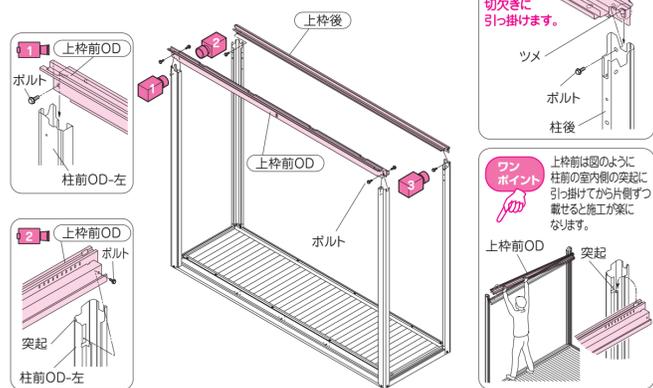


ワンポイント

柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前OD)を柱前ODの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

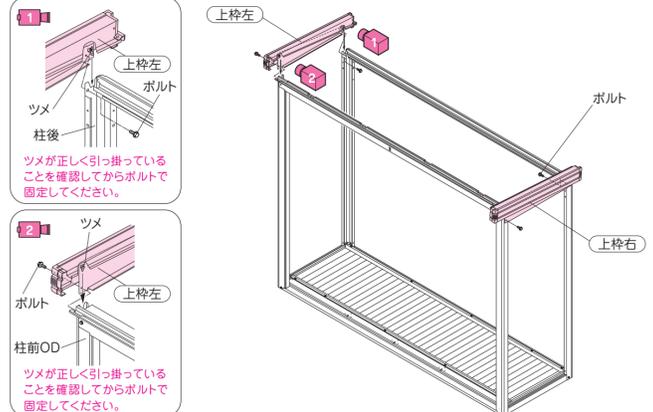


ワンポイント

上枠前は図のように柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

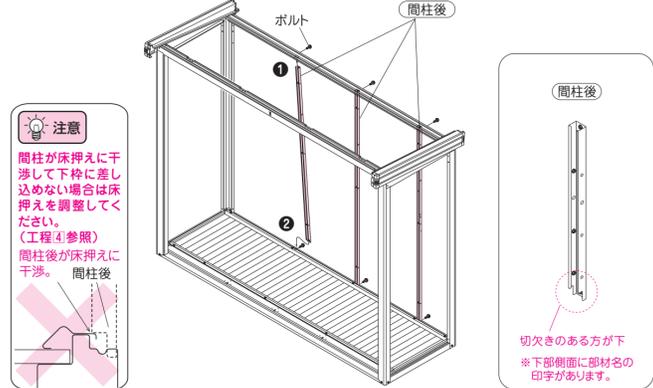
7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。



8 間柱後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。

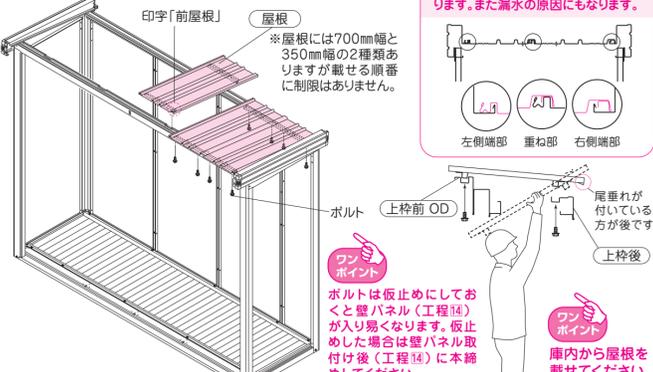


△注意

間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。(工程4参照) 間柱後が床押えに干渉。 間柱後

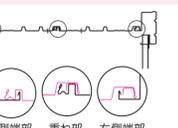
9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



△注意

屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。



ワンポイント

ボルトは仮止めしておくとき壁パネル(工程14)が入り易くなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程14)に本締めしてください。

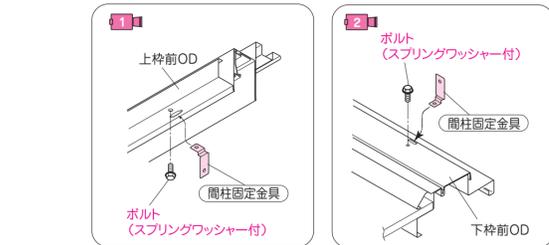
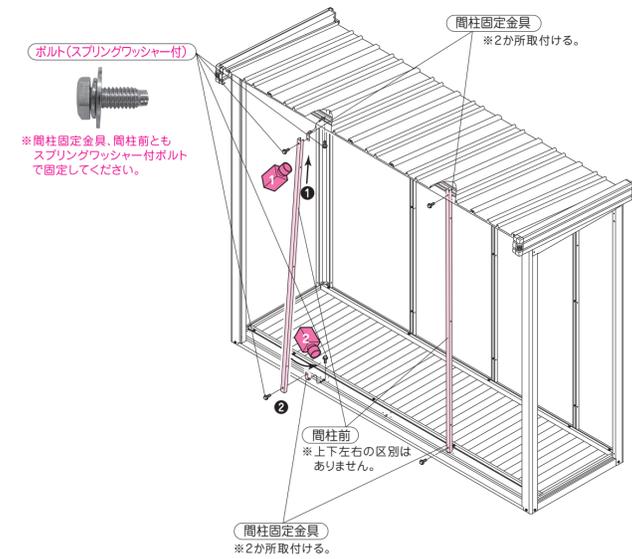
ワンポイント

庫内から屋根を載せてください。

10 間柱前の取付け

使用梱包	一般型・積雪型 LM5-1403 豪雪型 LM5-1433	LM5-0151
使用ボルト数	ボルト(スプリングワッシャー付) 8本	

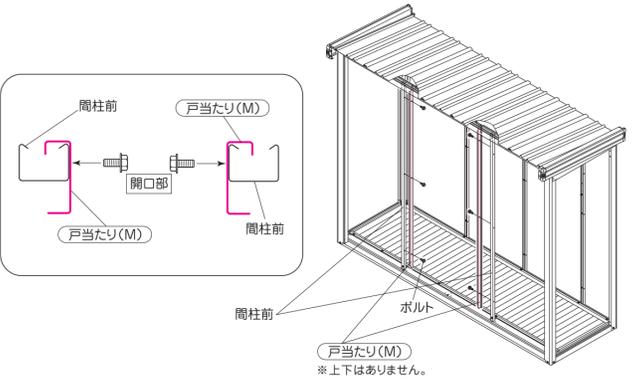
- ① 間柱固定金具を上枠前OD、下枠前ODそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**
- ② 間柱前の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



11 戸当たりの取付け

使用梱包	LM5-0413
使用ボルト数	6本

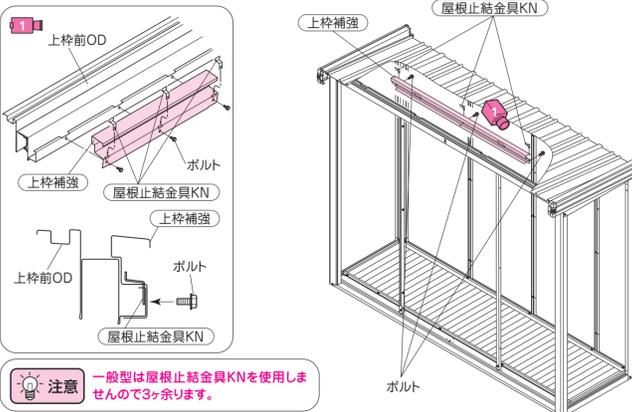
- ① 戸当たり(M)を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。- 工程16参照



12 上枠補強の取付け(積雪型・豪雪型のみ)

使用梱包	LM5-0151 LM5-3576
使用ボルト数	3本

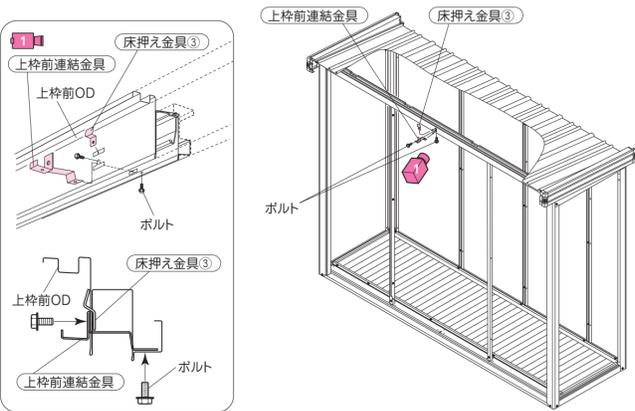
- ① 上枠補強を上枠前ODに(屋根止結金具KN)とボルトで固定します。**1**



13 上枠前連結金具の取付け

使用梱包	LM5-0151
使用ボルト数	2本

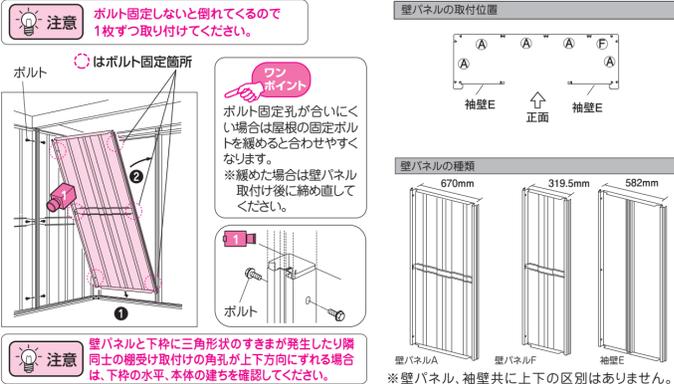
- ① 上枠前連結金具を上枠前ODの中央に差し込み、床押え金具③とボルトで固定します。**1**



14 壁パネル・袖壁の取付け

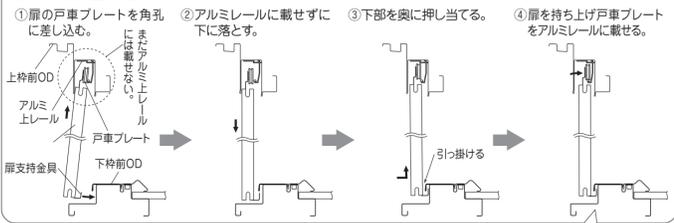
使用梱包	LM5-1001 LM5-1021	LM5-1004 LM5-1056
使用ボルト数	48本	

- ① 室内から壁パネル・袖壁パネルをはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。**1**

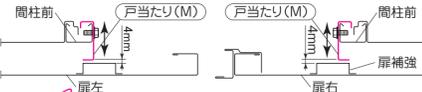


16 扉吊り込み(2)

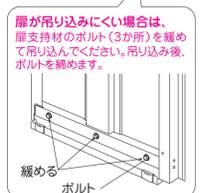
扉の吊り込み手順



- ③ 戸当たり(M)と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で戸当たり(M)を固定してください。



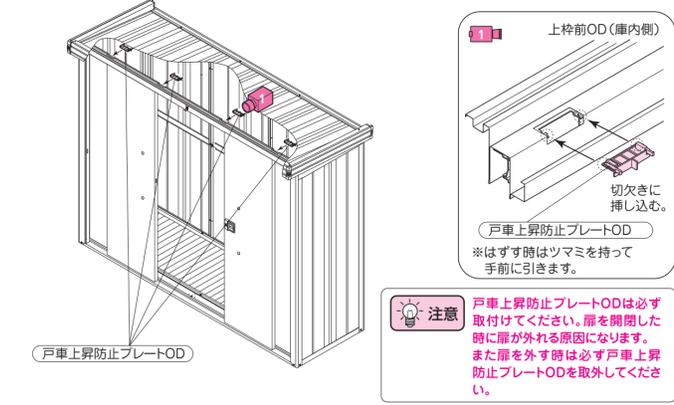
ワンポイント 扉フランジと戸当たり(M)が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり(M)を少し屋外側にずらして固定してください。



17 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	LM5-1706
使用ボルト数	0本

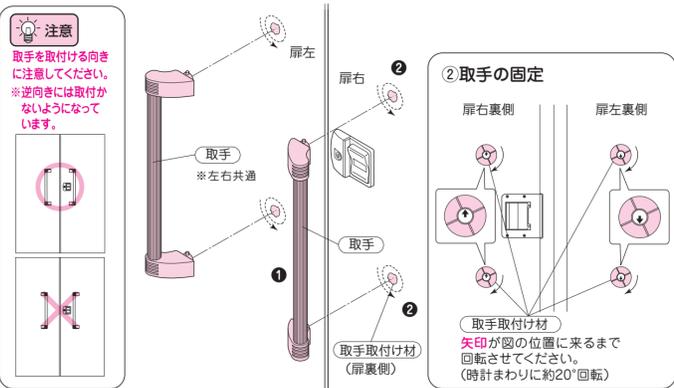
- ① 戸車上昇防止プレートODを上枠前ODに取付けます。(4か所)**1**



18 取手の取付け

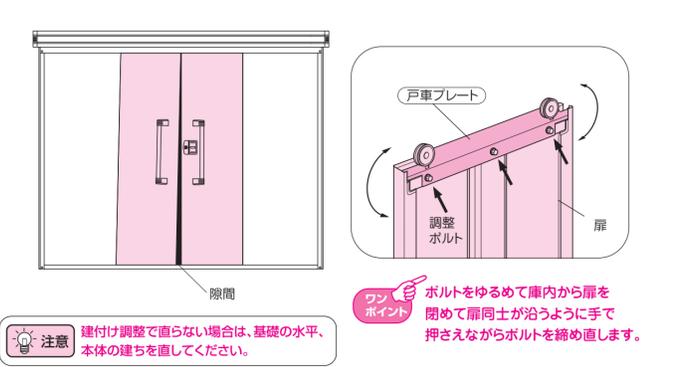
使用梱包	LM5-1706
使用ボルト数	0本

- ① 取手を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
- ② 扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



19 扉の建付け調整

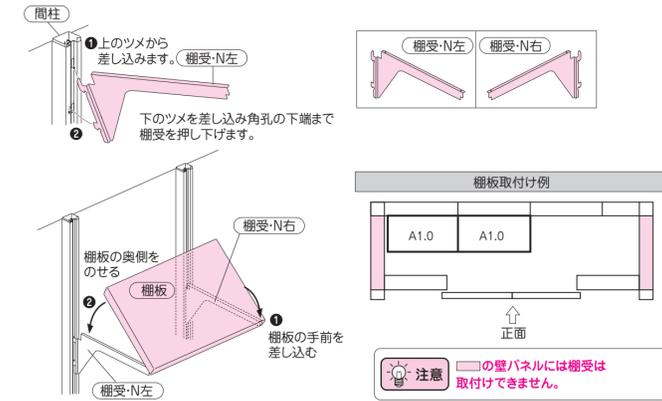
- ① 扉を開けて扉右と扉左の隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



20 棚板の取付け

使用梱包	LM5-1901
使用ボルト数	0本

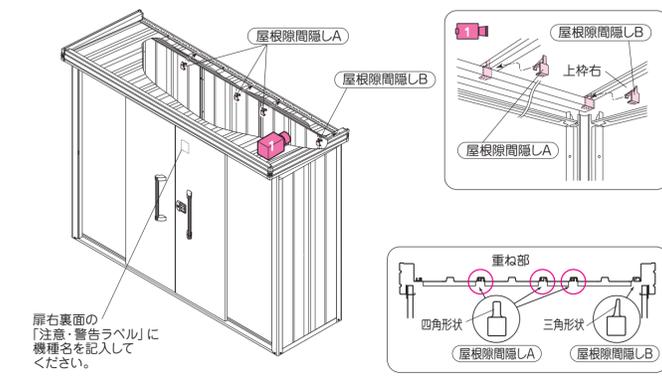
- ① 棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② 棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)



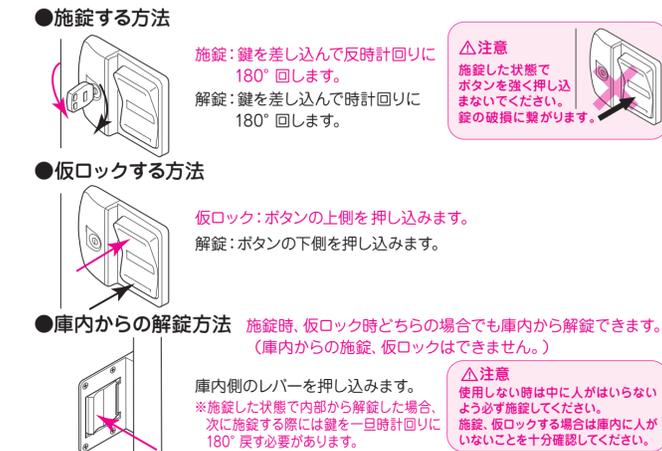
21 その他部品の取付け

使用梱包	LM5-0151
使用ボルト数	0本

- ① 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
- ② 屋根隙間隔しAを上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**



◆ 錠操作方法について



注意 一般型は屋根止結金具KNを使用しませんので3ヶ所あります。

組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

チェック欄

- ① 扉の建付け調整ができていないかご確認ください。
- ② 鍵が正常に作動するかご確認ください。
- ③ 戸車上昇防止プレートODが取り付けられているかご確認ください。
- ④ 棚板の配置確認をしてください。
- ⑤ 機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)
- ⑥ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

こんな時は

- ・扉が外れてしまった。 戸車上昇防止プレートODを外して扉を吊り込みなおしてください。(工程17)
- ・取手が外れる。 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程18)
- ・扉が最後まで閉まらない。 戸当たり(M)を調整してください。(工程16)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡ください。

(2508) **ヨココ** 溶川製鋼 (2025年A制作)